

# 研究テーマ「静岡におけるSDGs」

静岡県中部未来懇話会 2021年度臨時社員総会



## 22年度事業計画案を承認 企業価値高める戦略探りシンポ

一般社団法人・静岡県中部未来懇話会は3月9日、2021年度臨時社員総会を静岡市葵区のグランディエールブuketオーカイで開いた。正会員、特別会員、賛助会員合わせて約100人が出席し、21年度事業計画案、予算案などを原案通り承認した。総会后、時局講演会として文藝春秋執行役員「文藝春秋」編集局長の新谷学氏が講演した。

22年度事業計画の柱となる年間調査研究は「静岡に

におけるSDGs…企業価値を高める戦略とは」をテーマとした。

年間テーマに沿ってシンポジウムを2回開催する。6月の春季シンポでは「SDGsに取り組まないリスク・取り組む機会」と題し、静岡においてどうすればサステナブルな社会関係資本を構築できるのか、また静岡の特徴や特性を基に、SDGsはどのような脅威や機会となりうるのか検討する。

10月の秋季シンポは「静岡の中小企業はどのようにSDGsに取り組むべきか」がテーマ。中小企業がSDGsに取り組みメリットや、その取り組み方など、実践成功例を紹介しながら企業価値を高める戦略について考える。

このほかの事業としては、新型コロナウイルス蔓延のため2年間実施を見送った「しずおか経営戦略セミナー」の開催、Webを使った講演会の実施、会員同士の親睦・情報交換の機会となる会員交流会の開催などを予定している。

総会の冒頭、代表理事会長の中西勝則静岡銀行会長が「新型コロナウイルスのオミクロン株で感染はさらに拡大し、ロシアのウクライナ侵攻もあって世界は不確実性を増し、先を見通すのが難しい。コロナの影響で経営戦略セミナーは開催

できなかったが、Webを使ったライブ配信の特別講演会やシンポジウムができた。今後も中部地域活性化に向けて講演会やシンポジウム、提言などを行ってきたい。ご協力、ご支援をお願いしたい」と述べた。

また総会では「中部地域経営会議」の取り組み状況が報告了承された。21年度は、島田市内の高校5校と市、経済団体、金融機関、大学など11団体と県中部地域局が、20年度末に発足させた「島田市人材育成プラットフォーム」の会議を5月、12月に開催。インターシップ・職場体験の実施・拡大、職業人講話の実施事例や課題、進学者に対するキャリア教育プログラムの事例・課題などについて話し合ったほか、22年度の取り組み、島田市と市内高校との連携・協力事業などについて討議した。